

給食だより 2月

2022/2/1
しおかぜ認定こども園

節分 2022年の節分の日は2月3日(木)。方角(恵方)は「北北西やや北」です。

節分とは、「鬼を追い払って新年を迎える、立春の前日の行事」です。

立春の前日ですが、立春の日付は年により異なるため2月3日とは限りません。

豆まきには「鬼を打ち払う」意味と、「豆を投げ与えて恵み、静まってもらう」という、2つの意味が込められています。

≪節分に食べるもの≫

- 大豆……歳の数だけ食べます。落花生を食べる地方もあるようです。
- いわし…ヒラギの枝にイワシの頭を刺した「やいかがし」を飾ります。残りの体部分を食べます。
- 恵方巻…「恵方を向いて無言で丸かじりすれば、願いがかなう」と言われる恵方巻き。縁を切ることなく、商売繁盛の運を一気にいただく縁起物。自宅で「手巻き」するのもいいですね。七福神にちなんで、7種の具を使います。
- そば……江戸時代「年越しの日」でもあった節分の日には、よく食べられていました。これが年越しそばの始まりで、当時は「年取りそば」「節分そば」と呼ばれており、今でも長野県や島根県出雲地方では、節分にそばを食べる習慣が残っているようです。



※全国で乳幼児による誤嚥事故が多数発生しています。(右の消費者庁のチラシを参照)

当園では、子どもたちの安全を最優先にするため、福豆は園で食べず持ち帰ります。

日本の文化を大切にし、子どもたちに伝えていくため、『豆まき』は実施する予定です。

みんなで邪気を祓って元気に過ごしましょう！

クッキング:ほし組 たまごサンド



1月からほし組さんもクッキングを始めています！各自、ゆで卵の殻をむいて、つぶし、マヨネーズを混ぜたらパンにはさむ。「ゆで卵きらい…」とつぶやいていた子もいつの間にか食べてました♪自分で作るとおいしいみたいです！！



(株)LEOC
スタッフ

今年度も残り2ヶ月！子どもたちが給食に興味をもち、声をかけてくれるので、私たちも楽しく過ごすことができました。また、クッキングをしている時は、楽しく、自信満々な顔を見せてくれます。おうちに帰ってからもやってみよう、張り切っていました。

食品による子どもの窒息・誤嚥事故に注意！

— 気管支炎や肺炎を起こすおそれも、硬い豆やナッツ類等は **5歳以下**の子どもには食べさせないで—

厚生労働省の人口動態統計の調査票情報(平成26年から令和元年までの6年間分)を基に、消費者庁で独自に分析を行ったところ、食品を誤嚥して窒息したことにより、14歳以下の子どもが80名死亡していました。そのうち5歳以下は73名でした。



事故事例：アーモンドを子どもに食べさせていた。口内に残したまま歩行中、もっと欲しがって泣いたところ、むせてせき込んだ。その後もゼイゼイした感じがあり受診した。右気管支異物により入院6日間。(2歳)

事故事例：教育・保育施設において、給食中に幼児がブドウをのどに詰まらせ、病院に救急搬送したが死亡が確認された。(4歳)

(1) **豆やナッツ類**など、硬くてかみ砕く必要のある食品は**5歳以下**の子どもには**食べさせない**てください。

喉頭や気管に詰まると窒息しやすく、大変危険です。小さく砕いた場合でも、気管に入りこんでしまうと肺炎や気管支炎になるリスクがあります。

(2) **ミニトマトやブドウ**等の球状の食品を丸ごと食べさせると、窒息するリスクがあります。乳幼児には、4等分する、調理して軟らかくするなどして、良くかんで食べさせましょう。

(3) 食べているときは、姿勢を良くし、食べることに集中させましょう。
物を口に入れたままで、**走ったり、笑ったり、泣いたり、声を出したりすると、詰って吸引し、窒息・誤嚥するリスク**があります。

詳しくは：消費者庁ウェブサイト 生命・身体にかかわる危険
<https://www.caa.go.jp/notice/caution/life/>
消費者庁 問合せ先：消費者安全課 TEL03-3507-9137
FAX03-3507-9290

